

ヒカゲツツジを見に行こう(坪山) 山行報告

- 1.日時:2026年4月21日(火)
- 2.参加者:一之瀬、石井、原田晴、高橋、吉川、松田
- 3.コースタイム:上野原駅 8:30→(車移動)びりゅう館駐車場 9:10→坪山花コース登山口 9:30⇒9:46 東・西ルート分岐⇒11:20 坪山(昼食・休憩)12:00⇒13:00 阿寺沢分岐⇒13:30 びりゅう館

8:30 上野原駅に集合し、原田さん、吉川さんの車に分乗し、びりゅう館へ。びりゅう館前の駐車場に車を止め、川沿いの道を歩いて、登山口へ。道端に可憐な紫色の花があった。後で調べてみると、「セリバヒエンソウ」という毒草だった。可愛いらしい花なのに・・・。

9:45 ルート分岐では、花の多い西ルートに進んだ。白っぽい岩の上をきれいな水が流れている沢沿いに少し進むと、杉林の中の急な登りに



ごじんまりした山頂

なる。15分程つづら折りを登ると、広く緩やかな登りになり、桧林の中をさらに進んだ。

雑木林の尾根筋に出ると再び急登になる。痩せ尾根の岩場を登る。少し登ると、登山道わきに白い可憐なイワウチワがあった。アセビやミツバツツジも彩を添える。900m付近から、ヒカゲツツジが見え始めた。1,000m付近まで登ると、透き通るようなクリーム色のヒカゲツツジやピンクのイワカガミが可憐な姿を見せ、イワカガミの群生やヒカゲツツジとのコラボを見つけた。お花の山らしくなってきた。岩尾根の急登はきつい

が、お花を見つけては癒されながら登った。昨年は、両脇の花期の終わったヒカゲツツジの木を見て残念に思ったが、今年は

両脇のヒカゲツツジに歓声をあげた。山頂に近づくにつれ急峻な岩場になり、ロープや岩をつかんで登った。

11:20 山頂に着いた。山頂の広さから坪山と名付けられたように、山頂は狭いが眺望がよく、奥多摩の山並みが広がり、西の方には、白い雪の富士山も見た。山頂には数組の登山者が昼食をとり、くつろいでいた。

12:00 びりゅう館のおそばを楽しみに、下山することにした。下山路も急坂で、北側は新緑の美しい雑木林が広がるが、南側は下が見えない深い沢になっていた。木やロープにつかまり慎重に下りた。20分程下ると、阿寺沢第2



びりゅう館の手打ちそば

雑木林と表示があった。ブナ、モミジなどの木々の新緑が陽に映えて美しく輝き、ミツバツツジや山桜が彩を添えていた。痩せ尾根の急坂のアップダウンが続き、1時間ほど下ったが高度は200m位しか下がらなかった。

13:00 阿寺沢分岐を過ぎると、広葉樹林と桧林が両脇に広がる尾根道をくだった。緩やかな雑木林になり、「ムンクの叫びみたいな木」と名付けられた巨木があった。皆で「ムンクの叫び」をまねて写真を撮った。付近には不思議な形の巨木があった。桧林の中を大きくつづらに下り、ゴールのびりゅう館に着いた。びりゅう館で、楽しみにしていた天ぷらそばをいただき、祝杯(お茶・ビール)を挙げた。

昨年見ることができなかったヒカゲツツジ、透き通るようなさわやかなクリーム色の花は、この山の代名詞と言える。訪れる人も多い(平日でよかった)。お花の山と手打ち蕎麦を堪能できた。

記録:一之瀬 写真:参加者



イワウチワ



ヒトリシスカ



イワカガミ



アセビ



ヒカゲツツジ

丹沢ヨモギ尾根(2026/4/22)

参加者：石井、高橋、吉江、森田、松田

コースタイム：菩提駐車場 8:58⇒10:06 札掛 10:17⇒11:49 ヨモギ平 11:53⇒11:57 ヨモギ平南西窪地(昼食)12:28
⇒13:24 三ノ塔 13:34⇒13:55 二ノ塔 14:03⇒14:43 菩提駐車場

※距離：11.2km、累積高度(+)：851m、累積高度(-)：853m、5時間45分



9時前にほぼ満車の菩提峠駐車場を出発。予想に反して曇り空。最初は林道を下るので途中で上着を着込む。林道わきの若葉が萌えだしたミツマタの群生やヤマブキを見ながら1時間強で札掛に到着。

吊橋を渡り、札掛森の家の前に。札掛森の家は3月に閉館となってしまったのでトイレは借りる事は出来なかった。心配だったタライゴヤ沢は水量が少なく、皆さん岩から対岸の岩へジャンプ。これからの上りに備えて衣服の調整と軽い食事をした。

いよいよヨモギ尾根への上りが始まる。最初藤熊川に沿って山腹をトラバース気味に上

って行く踏み跡を辿ったが、結構崩れやすい所もあったので、右の尾根筋に向かって斜面を上った。尾根に上がれば下草もない平らな尾根が続いており、やはり尾根の取付き点から真っすぐ急な斜面を上って行くのがルートの様だ。ヨモギ尾根は痩せ尾根ではなく骨太と称したくなるようなボリューム感のある尾根だ。両側に杉の木立が並ぶ柔らかな道と、斜面が急になり杉の根の間を急登する道が交互に現れる感じである。道標は全くなく、ピンクテープもほとんどないが迷うことは無い。林が開けて草原のようになったところが標高970m程のヨモギ平だ。東側におそらくボスコオートキャンプ場から上がってくる道沿いに木のベンチがあり、少し下がった交差場所にヨモギ平と書かれた木の札があった。セルフタイマーで記念写真。暖かい陽を浴びて草原の中でのんびり昼食と考えていたのだが、恐らく10m/s程の冷たい風が吹きすさび、風よけを探してさらに進むと南西側に窪地があり、そこで昼食とした。暑くなる事ばかりを考えて凍らせたスポーツドリンクを持ってきたが、お湯が欲しくなるような状況であった。

ゆっくり昼食をとった後、三ノ塔を目指す。一度50m位下った後、再び上り始める。所々急な斜面もあるが昨日上った坪山ほどではない。途中から大山北尾根にもあった何の運搬に使うのか分からないレールが出てきた。それに沿って高度を上げていく。満開の山桜に迎えられるとすぐ表尾根稜線に出た。三ノ塔の小屋、二ノ塔のベンチで一休みし、日本武尊足跡経由で菩提峠駐車場に戻った。予想通りヨモギ尾根では1人も会わず、我々独占の山旅だった。ヒルにも会わず、渡渉でドボンもなかったが、ヨモギ平で昼寝ができなかったのが残念だった。

(記録&写真：石井)

